

日本一の
だるまあさいひを撮る



議会だより



中土佐町

No.79

令和7年11月25日発行

9月定例会

9月定例会第1回臨時会議

■ 9月定例会(通常会議) 2

■ 被害調査と復旧を学ぶ
石川県珠洲市で議員研修 6

■ 一般質問(9人が町政を問う) 8

(表紙紹介は20ページ)

9月定例会

案議
議審

令和7年9月定例会が9月5日に開会し、町長の行政報告、議案の提案理由説明などが行われました。9日と10日は一般質問（8件から関連記事）が行われ、9人の議員が町の課題を執行部に問いました。12日には議案の審議が行われ、町長提出の議案9件を可決、令和6年度決算3件を認定、可決及び認定、陳情2件を不採択とし、散会しました。

9月定例会の会期は、9月5日から11月30日までの87日間です。

専決処分の報告 (予算)

「専決処分の報告について（令和7年度中土佐町一般会計補正予算第3号）」は、参議院議員通常選挙に伴う予算で10万円を追加し、一般会計の歳入歳出予算の総額を70億7564万円とするもの。

専決処分(法第180条)
軽易な事項で、議会の議決によって特に指定した、議会の委任による専決処分。

一般会計補正予算

「令和7年度中土佐町一般会計補正予算第4号について」は、1億3401万円を追加し、一般会計の歳入歳出予算の総額を72億965万円とするもの。主な予算は、防災情報伝達システムの更改工事費1460万円、久礼中学校体育館への空調機設置工事費7576万円など。

1人の議員が質疑を行った。討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

決算の認定

令和6年度の各会計歳入歳出決算、簡易水道事業会計決算、農業集落排水事業会計決算は、予算決算常任委員会に付託された。各決算は、同委員会審査が行われ、各会計歳入歳出決算を「認定すべきもの」、簡易水道事業会計決算及び農業集落排水事業会計決算を「可決及び認定すべきもの」と決定した旨の委員長報告があった。

採決の結果、委員長の報告のとおり全会一致で「認定」「可決及び認定」された。

各会計決算の状況 (単位:百万円)

会 計 名	歳入	歳出
一般会計	7561	7267
国民健康保険特別会計	870	870
介護保険特別会計	1217	1175
後期高齢者医療特別会計	145	140

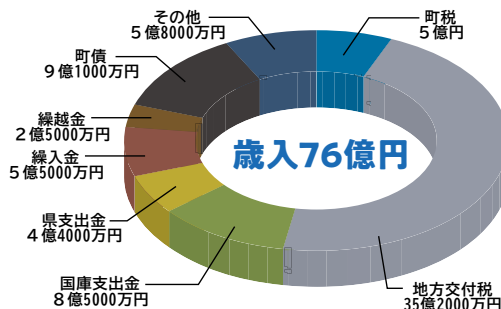
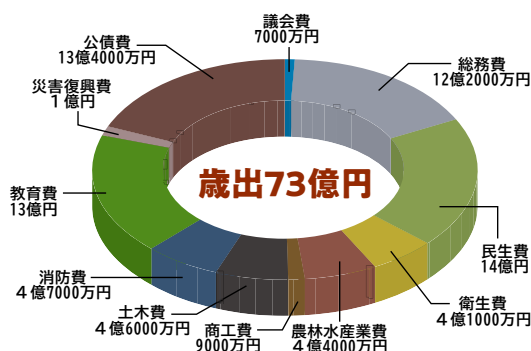
農業集落排水事業貸借対照表 (単位:百万円)

(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	802	固定負債	133
流動資産	12	流動負債	28
		繰延収益	407
			568
		(資本の部)	
		資本金	230
		剰余金	16
			246
資産合計	814	負債資本合計	814

簡易水道事業貸借対照表 (単位:百万円)

(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	1768	固定負債	788
流動資産	225	流動負債	109
		繰延収益	400
			1297
		(資本の部)	
		資本金	681
		剰余金	15
			696
資産合計	1993	負債資本合計	1993

一般会計決算の内訳



令和6年度決算を認定、可決及び認定
公債費負担の大きい時期が数年続く見込み

陳情2件を「不採択」

9月定例会の最終日に、産業建設民生常任委員会から提出された、消費税減税、インボイス制度廃止を求める意見書採択を求める陳情と、国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書採択を求める陳情（4件）の審議を行い、不採択としました。



9月定例会での「陳情」の採決

不採択

**消費税減税、インボイス制度廃止
を求める意見書採択を求める陳情**

陳情の趣旨は、食料品、お米、ガソリン、電気代など厳しい物価高騰が続くことで、窮地に追い込まれている住民生活の、くらしと営業を守るための消費税の減税と、インボイス制度の導入によって、経営が圧迫されている小規模事業者のくらしと営業を立て直すために、制度を廃止する意見書を国に対して提出することを求めたものです。

産業建設民生常任委員会では、町民の生活や、中小事業者への配慮は今後とも必要であり、税制において改善すべき点はあるかもしれない。しかしながら、現時点で、消費税減税やインボイス制度の廃止を求めることは、財政の不安定化と税の不公平の助長が懸念されると判断したことから、「不採択」すべきものとして全会一致で決定したとの報告があった。

質疑はなく、討論では1人が賛成、2人が反対討論を行った。採決の結果、賛成少数で「不採択」と決定した。

賛成討論

消費税減税は民意だ

窪田和教議員

参院選挙で示された民意は消費税減税だった。町民、町内の事業所が払う消費税額は約15億円にもなる。町民税が2億円程度だからその7倍にもなる。その半分でも町民の手元に残れば消費が活発になり町の経済が潤う。消費税が導入されて以後法人税と所得税が減税されている。ここをただせば、消費税減税の財源は生み出せる。

反対討論

**制度そのものの廃止を求める
ことは行き過ぎだ**

中野大地議員

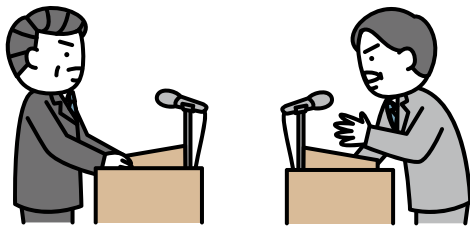
消費税やインボイス制度が町民や中小事業者にとって負担となっていることは十分に理解している。生活の厳しさや小規模事業者の声に耳を傾けることは、町議会として重要であるので、その点については陳情の趣旨に一定の理解は示す。しかし、制度そのものの廃止を求めることは行き過ぎである。よって反対する。

反対討論

**制度廃止、財政の不安定化と
不公平の助長が懸念される**

高橋雄造議員

消費税減税は、暮らしを楽にする観点で見れば少ないに越したことはないが、社会保障を支える重要な財源で、当町も恩恵を受けている。国においても議論の最中であり、今、この状況の中で提出するのは適切でない。インボイス制度は、税の公正負担を実現するもので、廃止は、財政の不安定化と不公平の助長が懸念される。以上の理由で反対とする。



不採択

国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書採択を求める陳情

陳情の趣旨は、現行の国民健康保険制度における保険料（税）が、被保険者にとっては負担能力を超えた水準となっていることに加え、今後、保険料が統一化されることによって一層の負担増が見込まれる。こうした現状を踏まえ、被保険者の負担軽減のために、国に対して国庫負担率を増額する意見書の提出を求めたものです。

産業建設民生常任委員会では、国庫負担増額による保険料軽減は、一見すると加入者にとって魅力的に映るが、財源はすべて国民の税金であり、結果的に国保加入者以外の国民にまで、新たな負担を求めることになる。よって、公平性の観点から安易に国庫負担増を求めることは適切ではないと判断し、「不採択」するものとして全会一致で決定したとの報告があった。

質疑はなく、討論では1人が賛成、2人が反対討論を行った。採決の結果、賛成少数で「不採択」と決定した。

賛成討論

国保税の引き下げは必要だ

窪田和教議員

異常な物価高のもと高すぎる国保税が深刻な問題になっている。国保は高齢者や低所得者が多く、均等割りがあるなど、保険料が高くなる構造的な仕組みがある。国庫負担なしでは運営ができない。そのため、知事会や市長会などは繰り返し国庫負担増額を求めている。国保引き下げは住民の命と暮らしを守り、少子化対策にもなる。

反対討論

持続可能な制度運営を実現できるかが重要だ

中野大地議員

社会保障費全体の伸びをいかに抑制しつつ、持続可能な制度運営を実現するかが問われている。制度の持続可能性を損なわない範囲での改善や、支援策の拡充を求めるということであれば理解はするが、「国庫負担の増額」を一方的に求めることは、財政規律を損ない、将来世代への責任を果たせなくなる恐れがある。よって反対する。

反対討論

医療費の適正化などきめ細かな軽減策の推進が現実的だ

高橋雄造議員

保険料の負担は、加入者の生活を圧迫していることは事実でそう感じている。ただ、国の財政を考えると、偏りのないバランスの取れた運営が必要で、国庫負担の増額でなく、医療費の適正化などの構造的な改善努力、低所得者へのきめ細かな軽減策など推進することが現実的な対応だ。将来世代に負の遺産を残しかねない国庫負担の増額には反対する。

**9月定例会
第1回臨時会議
議案審議**

10月20日、令和7年9月定例会第1回臨時会議が行われました。町長提出議案2件を可決し、散会しました。

久礼中体育館棟空調機設置工事請負契約の締結

「令和7年度久礼中学校体育館棟空調機設置工事請負契約の締結について」は、久礼中学校生徒の熱中症対策などを目的に、体育館棟へ空調機を設置するもので、岡山電気株と5280万円で契約するもの。

質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

委員会活動報告

9月定例会の初日、総務教育常任委員長から、委員会の活動報告がありました。

総務教育常任委員会

令和6年度の文化館図書室の来館者数は5435人で、年間貸し出し数は個人が7426冊、団体が265冊だ。図書購入予算は物価高騰による本の値上りを考慮し、本年度は88万円に増額している。購入にあたっては、県内書店の動向を調

査し、偏りがないようにしている。蔵書数は2万5千冊で、現在書庫を整理中だ。町内の図書室はデーターベース化されているが、一般公開はされていない。蔵書点検実施後の公開を検討中だ。職員は会計年度任用職員2人だ。土、日は県外

客も多く、郷土資料の問い合わせなどで、他の利用者を待たせる場合があるとのことだ。目指す図書室を実現するためにも職員の増員も検討すべきと指摘した。

施設の課題としては、災害時の緊急対応や雨どいの詰まりなどがある。また、高台移転は、現在の利用者のことを考えると、現時点では現実的ではないため、旧美術館などの再利用を踏まえ検討するとのことだ。

職員の増員も検討すべきだ 文化館図書室を調査



文化館図書室の現状や課題を調査する総務教育常任委員（8月28日）

効率的・効果的な財政運営に努める 公債費の上昇は想定範囲内

池田町長の行政報告

●令和6年度決算の状況と財政見通し

現在、公債費がピークを迎えているが、想定範囲内での上昇にとどまっている。今後も基金を含めた効率的・効果的な財政運営に努めていく。

●防災対策

7月に発生した、カムチャツカ半島付近の地震による津波注意報発令の避難指示を受けて、町内の避難者数は一時30人近くに及んだ。幸い本町での津波被害はなかった。

●大阪・関西万博出展

8月22日から2日間の日程で、高知県が主催する企画「高知の祭典 WORLD YOSAKOI DAY」に、奥四万十地域の構成市町と連携し、共同出展を行った。万博 EXPO アリーナ「Matsuri」を会場に、高知県内に現存する酒蔵として最も歴史のある西岡酒造店の銘酒「久礼」の純米吟醸酒および辛口純米酒が、カツオに合う辛口のお酒として特設の土佐酒試飲販売コーナーに登場し好評を得た。

●新美術館

7月18日に竣工神事を執り行い、19日からプレオープン期間に入った。8月31日までの1カ月半の間に来館者数3400人を記録した。9月20日に「なかとさ美術館」としてグランドオープンを迎える。

●大野見新米フェスタ

10月19日に第20回の大野見新米フェスタが開催される。平成18年の合併当初から途切れることなく継続してきて、20年目の節目を迎える。



9月定例会で行政報告をする池田町長



珠洲市役所での研修



石川県珠洲市で議員研修

豪雨で大きな被害を受けた石川県で視察研修を行いました。



矢印の箇所に国道のトンネル坑口があるが、間の道路を土砂が埋め尽くしていた。(右の写真)

▲珠洲市と輪島市を結ぶ国道249号は、海岸沿いで大規模な山の崩落や地滑りが多発した。道路は土砂で埋まり沿線の各集落が孤立した。現在、この区間には海岸に沿って応急仮道路が設置され、通行ができるようになっていたが、天候によって通行止めになる（珠洲市大谷地区）



▲海岸では岩場が約2m隆起していた。（珠洲市大谷地区）

珠洲市の被害概要		
地震（本震）		震度6強
被災者 (R7.5.30現在)	死者	170人
	重傷者	47人
	軽傷者	202人
被災家屋 (住家のみ)	全壊	1756棟
	半壊	2104棟
	一部損壊	1745棟

最大震度6強の揺れを観測した珠洲市は、半島の先端に位置する人口約1万人の自然豊かな市である。震災で170人が犠牲になり、全壊家屋は非住家を含めて5611棟に及んだ。道路は各地で寸断され、災害物資の陸上輸送は困難で、大型船は港へ入港できず、物資の輸送は主にヘリコプターに頼った。道路は応急復旧により、15日後には約9割が通れるようになったというが、日本海側では、海岸が最大で4mも隆起し、広範囲で土砂崩れが発生した。国道の完全復旧は遠いようだ。復興計画も本格化している。各地区に市長が出向き、住民の意見を反映した復興プランを作成しており、孤立対策の住居支援などが課題となっている。

下元 良之

珠洲市では、全ての学校が地震発生後約2週間で再開できた。保育園も1月8日から再開できたという事で、そのスピード感に驚かされた。市は、保護者が仕事に戻る環境を早急に整えないといけないということで急いで再開させたということだった。学校での本格的な給食の再開は秋ごろだったが、それまでの期間は、静岡県浜松市の企業団体が毎日お弁当を提供してくださったということ。で、そういった方々の温かい支援もあり、早い段階での学校再開ができたのだと感じた。しかしながら、生活再建には、まだまだ時間がかかる中で、特に若い世代の人口減少が目立ち、27%の子どもたちが市外へ出ていっているというのが現状だ。

中野 大地



▲9月の奥能登豪雨では山の崩落による土石流が発生し、多くの家屋が土砂被害を受けた。現在も一階部分が埋まった状態の住宅（珠洲市大谷地区）

被害調査と復旧を学ぶ

町議会は令和6年1月1日の地震や同年9月21日の
議会広報編集委員4人が研修の報告をします。



◀火災で多くの店舗や住宅が焼失した輪島市・朝市通り周辺。復興への動きは始まっている



▲語り部に地震当時や現在の復旧状況を説明してもらった。ほとんどのホテルや旅館は現在も再開が難しく、傾いたままの電柱も多く見られた(和倉温泉)



▲湾に面して建っているホテルの基礎部分には浸食による倒壊を防ぐため割石が敷き詰められていた。(和倉温泉)

珠洲市は、地震から1年7カ月たつが、その後豪雨災害があり、まだまだ復興が進まない状況と感じた。町なかのつぶれた家屋などは撤去が進んでいるように見えるが、いたる所で崖崩れや道路の陥没、建物はブルーシートに覆われていた。住家の被害棟数は5605棟に及んだ。耐震改修されていない古い建物の被害が多かったが、新基準・耐震改修済みの建物は被害が少ないとの説明を受けた。この地域は家も大きく耐震改修補助金では賄えず、耐震診断のみの家が圧倒的に多い。しかし、一番被害がひどかった地区は耐震改修をした家が多く、家が崩れたけど命が助かったと話す人が多くいた。このことから、耐震化の有効性と必要性を改めて実感した。中土佐町の居住実態のある住宅の耐震化率は令和6年度末で約72%である。

濱田 和昭



▲語り部列車で移動しながら発災時の経験や復興状況などを聞く(のと鉄道)

石川、小松空港に到着してまず向かったのは、日本一の旅館として有名な「加賀屋」のある和倉温泉。観光客でにぎわっていたはずの温泉街は今なお、ほとんどのホテル・旅館が休館している。その和倉温泉駅から「のと鉄道震災語り部列車」に乗り、七尾湾の景色を見ながら地震当日の被災経験や復興状況を聞いた。令和6年元旦の夕刻、のと鉄道観光列車は停車中の能登中島駅で地震に見舞われ、大津波警報が発令されたため、高台にある休校している高校に乗員乗客48人を無事避難させた。素晴らしいと思ったのは、和倉温泉も、のと鉄道も住民による共助によつて翌日には全ての観光客を金沢市や安全な場所に避難させている。多くの観光客が訪れる中土佐町も観光客を含めた避難対策を進めていかなければならない。

金子 裕之

9人の議員が一般質問



金子 裕之 ……P9

- 仮設住宅の設置場所は
- SEAプロと地域振興公社の業務改善策は



高橋 雄造 ……P10

- 用排水路の復旧に補助は
- 本町産米の学校給食への買い付けは



下元 道夫 ……P11

- 南海トラフ地震の対策は
- カツオのブランド化の取り組みは



山本 建生 ……P12

- 道の駅の評価は
- 会計年度任用職員のフルタイム任用は



下元 良之 ……P13

- 四万十川の景観整備は
- ふるさと納税の今後の取り組みは



中野 大地 ……P14

- 熱中症搬送件数は
- 旧美術館の今後の活用は



窪田 和教 ……P15

- 学校の通信環境改善を
- 外国人との共生社会を



岡 伊三男 ……P16

- 中土佐地区の海岸地域の地震対策は
- 上ノ加江小学校は残すのか



佐竹 敏彦 ……P17

- 米作の失敗は市場原理に任せてきたことにあるのでは
- 外国資本による土地買収の事例は

一般質問

町政を問う

9月9日と10日の2日間、一般質問が行われ、9人の議員が防災、教育、産業など町の諸問題を取り上げました。

※一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長などに対し疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

※掲載する「一般質問」は、議員の責任で質問・答弁を750字以内にまとめたものです。



各議員のページにあるQRコードで、その議員のインターネット中継をご覧ください。ご覧になれる場合は、データ通信料の契約が定額制（使い放題）でない場合、高額請求される場合がありますのでご注意ください。

仮設住宅の設置場所は

民有地も含め検討

問 南海トラフ地震発生後に必要な仮設住宅の数は。

山崎総務課長 令和2年1月に策定された応急機能配置計画では、872戸が必要だ。

問 被災後に家族が安心して暮らすためにも、仮設住宅の設置場所は決めておく必要があるのでは。

山崎総務課長 応急機能配置計画と事前復興計画のすり合わせが必要だが、用地不足は確実なので民有地を含め検討する必要がある。

問 課題は物流ルートの確保だが、道路輸送の他に須崎港を活用した海上ルートも含めた環境整備が必要では。

池田町長 津波の被害を受けない地域からの支援を第一に進めていくことが現実的で、近隣の自治体との連携を取りながら有事に備える。



金子裕之



金子議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから



輪島市の仮設住宅



SEAプロと地域振興公社の業務改善策は

販売の強化と利用率向上の企画、開発を検討

問 SEAプロジェクトの6年度決算で約64万円の赤字を出した。その理由と改善策は。

江崎まちづくり課長 人材確保と賃金水準維持のため、給与体系を改定したことが損失の要因だ。収益性の高い商品の販売を強化し改善を図る。

問 地域振興公社の6年度の約162万円の損失理由と改善策は。

江崎まちづくり課長 昨年8月の南海トラフ臨時情報や台風10号での予約キャンセルが相次いだことで収益が減少した。仕入れや販売価格の見直しを実施し、利用率向上に向けた企画、開発を検討している。

問 従業員に主体性を持たすためにも、SEAプロジェクトに支出している補助金（指定管理料）をやめてはどうか。

辻本健康福祉課長 高齢者シェアハウスは将来的に有効な施策だが、まだ詳細な情報がない。各自治体の動向も見ながら加入に向けた検討をしたい。

問 一人暮らしの高齢者などから、中土佐町にもシェアハウスがあれば良いという声を聞くが、検討は。

高齢者シェアハウス構想への参加は



なかとさ美術館のオープンによって相乗効果が期待される黒潮本陣

竹崎副町長 道の駅の管理に係る費用は、指定管理料だけでは賄えない状況だ。不足分をテナント料やマルシェの売り上げで補っている。店舗売り上げも年々伸びていることからスタッフはやる気を持って業務に当たっている。

用排水路の復旧に補助は

ふるさと・水と土保全基金補助金がある



高橋 雄造



高橋議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



問 農地の用排水路がイノシシなどの被害を受け収穫に影響が出ると判断される場合、補助の内容は。

黒石農林水産課長 小回りの利く事業で「ふるさと・水と土保全基金補助金」がある。補助要件は、受益者が3戸以上必要となる。要件に満たなくても、条件によっては農地が3筆以上であれば対象になることもある。

問 補助要件の改正は検討できるか。

黒石農林水産課長 要件によつては、他の事業での対応も検討できるので、相談してほしい。

問 農業従事者の高齢化で、存続が危ぶまれているが、本町としての対応は。

黒石農林水産課長 農業を取り巻く環境は厳しいものがあるが、農業がやりやすくなる環境の整備や有利な作物の検討など、



イノシシに壊された用排水路



復旧後の用排水路

耕作放棄地への対策を含め環境改善に取り組む。

保全のための補助対策を講じていく。

池田町長 町の誇りでもある農業は、我々の精神的な支えになっており残していくべきと思う。集落

本町産米の学校給食への買い付けは

JAと営農組合だ

問 学校の給食で使われている、本町で収穫される米の買い付け先は。

津野教育次長 年間を通じ、JA高知県からと、令和4年度より、町内の営農組合から年間約2カ月分を買っている。

問 JAが174万1千円で、営農組合からの購入が39万4千円だが、地元の米をもっと多く買うことはできないか。

岡村教育長 町内の営農組合や農家の米を使用したのが、金額と保存方法に問題があり、現在JAを中心に購入している。

問 地元の米を防災備蓄米として、アルファ米とのローリングストックはできないか。

山崎総務課長 過去に検討した経緯はあるが、緊急性、利便性などから現状維持との判断をしている。



防災用の備蓄アルファ米



今年の新米

南海トラフ地震の対策は

避難できる状況を整えていく

問 南海トラフ地震での建物の倒壊による道路閉塞は完全には防げないとのことであった。とにかく逃げる」ができない状況だが対策は。

山崎総務課長 耐震事業の説明を訪問して行っている。危険な老朽家屋やブロック塀の確認も同時に行っている。

問 2基の避難タワーに逃

げた場合の風雨、寒さ対策の検討結果は。

山崎総務課長 2号避難タワー付近の自主防災会と共同で、ブルーシートを取り付ける訓練をした。1号避難タワーも同様に工夫をしていく。

問 逃げる際、葉など個人が必要なものは普段からもち歩くようにする啓発があると思うが。

山崎総務課長 葉を持って逃げるという啓発は、お互い声をかけながら確認してもらおうと良いと思う。広報でできる取り組みを検討する。

問 中土佐地区は避難所のスペースが足りない。南海トラフ臨時情報が出されたとき、高齢者や障がい者など災害弱者が大野見に避難できるよう、調整していくことが必要では。

山崎総務課長 臨時情報が出た場合、久礼地区の方で特に避難行動要支援者の方には、事前の周知が必要になる。また、トイレの洋式化や資機材の充実など準備を進めている。



下元道夫



下元議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから



避難路をふさぐ恐れがあるブロック塀と密集した家並み

カツオのブランド化の取り組みは

まちのブランド化を進める



9月24日土佐沖で釣ったカツオの水揚げをする中城丸（久礼漁港）

問 本町は、カツオに特化した取り組みをしてきた。カツオのブランド化から、まちのブランド化への変更はどういう意味か。これまでは、漁師が釣って、よそと違う鮮度の良いカツオを提供するカツオのブランド化に努力してきたが。

本陣、道の駅の取り組み

問 黒潮本陣も道の駅もスタッフが大きく変わった。スタッフが議論し前に進む。スタッフが意気に感じる取り組みが必要では。

江崎まちづくり課長 まちのブランド化を進めることで、カツオの価値が上がっていくと考えている。

池田町長 現場に問題があり、現場に解決策がある。動かすのは人の心だ。意気に感じて仕事ができる組織づくりに努める。

道の駅の評価は

経済効果がある



マルシェの売り場（道の駅なかとさ）

問道の駅マルシェは職員がよく辞めるといふ話を聞く。実態を把握されているか。

竹崎副町長 令和6年度は正規職員が1人、パートタイム職員が数人退職した。退職理由は、家庭の



山本建生



山本議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



事情や一身上の都合と認識している。できるだけ長く勤めていたいただきたいので自由に意見を言える職場環境を整えるよう努力していきたい。

問いつも話題になるのは、割りばし代を取っていることだがこのまま続けていくか。

江崎まちづくり課長 割りばしの有料化から数年がたった。今後は有料化の有無も含めて内部で検討させていただく。

問町長は地域の誇れる施設になったと言った。毎年、指定管理料とテナント料合わせて2千万円がSEAプロジェクトに入っている。開業以来1億円を超えるお金が道の駅に費やされているが、成功した施設といえるか。

池田町長 ほとんどの町民が道の駅があつて良かったと言っている。道の駅があることで経済効果を生んでいるし、よそからも評価されている。

会計年度任用職員のフルタイム任用は

各課の判断で決める

問役場の正規職員の早期退職者が10年間で30人いるが、理由は。

山崎総務課長 メンタルの不調が3分の1、次のステップへ進むための早期退職などが3分の1、その他が3分の1となっている。

問役場職員242人のうち、会計年度任用職員は103人で42%になる。会計年度任用職員をパートタイムからフルタイムの勤務に変える検討の余地はないか。

山崎総務課長 パートタイムとフルタイムは各課の意見を聞いてやっている。各課からフルタイムで任用ということならそ

れはできる。

問県や他の自治体では優秀な人材を社会人枠で採用している。会計年度任用

用職員を含めて優秀な人材を採用することはできないか。

山崎総務課長 採用試験を受けていただき、採用基準をクリアすればできる。

その他の質問

- ▼ 税収入の実態と町民の不安
- ▼ 図書館の改善



役場の仕事風景

四万十川の景観整備は

保全は行政の責務だ

問 四万十川は、河原にヨセが繁茂し、川岸には竹やクス葉が覆っている。除去できないか。

小松建設課長 地域の団体と県が委託契約を結び、河川環境整備を目的とした「おもてなしの水辺創生事業」がある。草刈りなどの経費を県が負担し、伐採後の運搬や処分も依頼できる事業だ。

問 四万十川の景観整備への思いは。



下元良之



下元議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから



竹が繁茂している四万十川(大野見川口)



大野見奈路天満宮前キャンプ場の河原のヨセ

池田町長 後世に残すべき大きな宝である四万十川を保全していくことは、行政の責務と考える。重機を使って河川を改善し、竹をチップにして活用するなど方法はあると思うが、現実感は薄い。官民協働のボランティア組織で行うしかなく、実

行するプレーヤーの存在が前提となる。

問 四万十川の保全を考えると、町の組織は担当部署が多岐にわたる。町長がリーダーシップを発揮して、本気で保全活動に取り組めないか。

池田町長 誰かが始めなければならぬ。トライしてみたいと思う。

ふるさと納税の今後の取り組みは

地域ブランドを構築する

問 令和6年度のふるさと納税の実績は。

江崎まちづくり課長 寄付金額は8774万円で、前年度比98・9%となっている。前年度比の全国平均は113・9%だ。

問 今後のふるさと納税への取り組みは。

江崎まちづくり課長 来年度は管理事業者の契約更新時期であり、課題を整



トマト農園(大野見奈路)

理しながら、持続可能な地域ブランドの構築を図り、全国から選んでもらえる環境を整えていきたい。

問 ふるさと納税寄付金の主な使い道は。

江崎まちづくり課長 小中学校の学習用タブレットの購入や図書館書籍の購入、SEAプロジェクト

施設の管理料、観光協会への委託料などだ。

問 ふるさと納税寄付金を四万十川の保全に活用できないか。

池田町長 返礼品の中でトマトが一番の人気ということもあり、四万十川の保全のために使うことは意義がある。



中野議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



熱中症搬送件数は

8月末時点で6人

問 熱中症による救急搬送件数は。

山崎総務課長 8月末時点で久礼地区2人、上ノ加江地区4人の合計6人が搬送されている。

問 熱中症対策の取り組みは。

津野教育次長 学校における熱中症対策ガイドラインを参考に、教職員や部活動の指導者などで熱中症への共通理解を図っている。

辻本健康福祉課長 高齢者の熱中症対策は、広報などで対処法や予防法を周知するほか、熱中症対策講座を開催するなど啓発に努めてきた。

問 クーリングシエルトー指定施設の利用状況は。

辻本健康福祉課長 町内6カ所の施設をクールシエルトーとして開放した。正確な数字ではないが、7月、8月の2カ月

で、久礼地区50人、上ノ加江地区10人、矢井賀地区134人の利用があった。

問 災害時の避難所に指定されている場所に空調設備は整備されているか。

山崎総務課長 各避難所は、順次整備してきた。体育館は未設置となっているので、本年度から順次整備を進めていく。

クーリングシエルトー
気候変動適応法に基づいて、市町村長が指定する、冷房設備が整った暑さをしのぐための施設。
クールシエルトー
省エネを目的に、涼みどころとして冷房環境を共有するための場所。

旧美術館の今後の活用は

図書室の機能拡充も検討

問 旧美術館の今後の活用方法は。

津野教育次長 図書室に近接することもあり、図書室の機能拡充のための利活用が考えられる。

今まで以上に文化館及び旧美術館周辺の環境整備に気を配っていく必要があるのでは。

津野教育次長 周辺の樹木は、年4回剪定作業などを実施している。状況に応じて、図書室職員が床

美術館が高台移転し、



美術館が高台移転した。旧美術館の今後の利活用が注目される



県道窪川中土佐線（長沢～吉野）の区間では側溝が一部未整備となっている

タイルの清掃などをして

県道窪川中土佐線の側溝対策

問 県道窪川中土佐線の長沢から吉野の区間で、側溝にふたがない箇所があり、脱輪したという声を聞いたが対策は。

小松建設課長 一部区間に山手側の側溝が未整備の区間がある。現在事業計画はないが、可能な範囲で対応していく。

学校の通信環境改善を

契約上見直しできない

問 教育用パソコンには国の補助があるが、本町は1台7万1790円で、他町に比べ4倍以上高く買っている。

津野教育次長 LTE対応タブレットで、教育環境整備のためだ。学校は推奨帯域は理論上確保している。しかし、ベストエフォート型契約のため、授業で回線が混雑することがありLTE端末と併用していく。

問 文科省は2期のGIGAスクール構想で学校ネットワーク改善を急務としており補助制度を組んでいる。国の方針通り通信環境の整備が必要では。

津野教育次長 現在考えられる手段はすべて完了している。

問 文科省の推奨帯域を満たしているなら、他町より4倍も高いパソコンは必要はない。他の自治体は通信環境を整備をしている。

津野教育次長 ベストエフォートのため、時間帯、使用時間、方法で通信速度が変わるためにWi-Fiだけでは達成していない。

問 Wi-Fiで通信環境を満たせというのが2期GIGAスクール構想の中心点ではないか。

津野教育次長 町が契約している通信会社から提供される通信では最大のものだ。新しく誘致となると現実的でないので、見直しはできない。

学習用パソコン1台の価格

	本体価格	国の補助後の購入価格
中土佐町	108,460	71,800
A町	52,250	17,400
B町	51,300	17,100

* 1台当たり上限55,000円、3分の2の国の補助がある
* A町は本町と同じHP社のクロームブック。B町はiPad

外国人との共生社会を

一人一人が尊重される町に

LTE
携帯電話における通信規格。現在は4Gと表記される。

ベストエフォート
「最大限の努力」という意味で、インターネットでは、あらかじめ定められた通信速度を保障しないサービス形態。

問 外国人にヘイト的な言動、排他的・排外主義的な風潮が高まることは健全な社会とはいえない。本町では水産業や介護、農業、建設業などで外国人が働いている。広がりを見せる排外主義にどのような認識を持っているか。

岡村教育長 日本人も外国人も一人一人が人間として尊重される町でありたいと考えている。

問 デマや激しい言葉で特

定の階層や外国人への攻撃を加える。特定の人を自殺にまで追い込む例が見られるネット社会に生きる子どもたちの教育の在り方は。

岡村教育長 インターネット上の情報はそれが事実なのか確認するように教育する必要がある。

その他の質問 道の駅



船のマストで談笑する外国人乗組員(2021年2月久礼港)

中土佐地区の海岸地域の 地震対策は



岡 伊三男

防災点検後に危険箇所は対策している

ガゼット
岡議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



山の崩落による大量の土砂が道路をふさいでいた。山留などの構造物が見えるので点線の辺りが道路と思われる（珠州市大谷地区）

問 海岸部では、地震による大規模な山崩れや崩壊が発生し、久礼から矢井賀までの道路の寸断が予想される。事前準備対策が必要だが現状は。

小松建設課長 県では、道路防災点検で危険箇所を調査して対策している。

問 被災後、矢井賀地域への支援物資の配送には2週間以上かかる。資機材

倉庫には、飲料水や食料など何日分あるか。

山崎総務課長 資機材倉庫に、主食が4272食、副食が1452食、水が500リットルのペットボトルで525本あり、約7週間分程度が備蓄されている。避難場所にも分散

備蓄されており、発災直後から一定期間は、備蓄物資でしのいでいただ

上ノ加江小学校は残すのか

12月までに一定の方向を出す

問 上ノ加江小学校は、令和8年度以降も入学する児童がいない状況である。6年生3人が卒業すると、現在の5年生3人、4年生5人、3年生5人の児童が残るが、最終学年まで学校は残すのか。

岡村教育長 令和6年度から保護者と話し合いを続けてきた。令和8年度ま

では現状で残していくことで確認をしている。9年度以降は教員の人事配置もあり、本年12月までに一定の方向を出す。

池田町長 未来を嘱望される子どもたちのため、苦渋の決断であるが、しかるべきときには、住民や保護者と話し、ご理解をお願いしたい。

県道25号の道路管理

問 県道25号で、道路上に張り出したり、垂れ下が

小松建設課長 現地を確認し、県に報告している。車道の上空4・5メートル保するために、順次対応していただけると伺っている。



存続が議論されている上ノ加江小学校



道路に樹木が張り出し通行の妨げになっている
県道25号

米作の失敗は市場原理に任せてきたことにあるのでは

6団体の一員として声を上げていく

問 他の自治体で農家から高額で米を購入して、中学生以下の家庭に教育奨励品として配給して大変喜ばれた例があった。高く買って消費者に安く売ること、米の食料の安全保障、農家の基本的生活の安定にもなるが考えは。

黒岩農林水産課長 農家の供給は、取引先で精いっぱい。町が買い取ると



佐竹敏彦



佐竹議員の録画映像は
こちらから

なれば、保冷庫や収集、運搬、在庫管理など課題があり、民業圧迫にもなる。

池田町長 ビジネスとしてやっていける状況を国が作らないといけない。6団体の一員として政府に声を発していく。

問 米問題の失敗は、市場の需給関係に全てを依存してきたことにある。国が米政策の中に関わらないと無理だ。町長の考えは。



日本は米を選んだ（新嘗祭献穀中土佐町抜穂式＝大野見奈路）

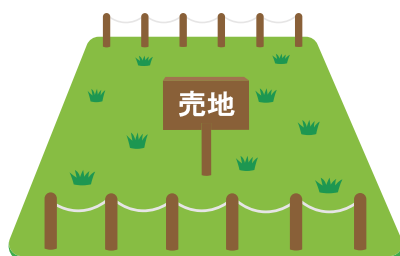
外国資本による土地買収の事例は

町にも数筆ある、しっかり取り組む

地方6団体
全国知事会・全国市長会・全国町村会の執行3団体と、全国都道府県議会議員会・全国市議会議員会・全国町村議会議員会の議会3団体を合わせた6つの団体の総称。

問 日本各地で外国資本による土地買収が問題となっている。命の源である水源地を買い占められ、日本の水を中国資本から買わざるを得ないという可能性も出てきた。町で問題は発生していないか。

市川税務課長 土地所有者の住所が国外になっている土地が数筆あるが、所有者の情報が国籍など記載がなく把握できていない。



問 外国人土地問題は県内市町村議会でも問題になっている。国政レベルではなく、市町村民の具体的な大きな問題になる。起きてからでは遅い。

対策が必要では。

池田町長 しっかりとアンテナを広げながら取り組んでいく。

忠魂墓地の保全

問 上ノ加江の忠魂墓地が荒れているが、お墓にはその人の事績を書いている。貴重な遺跡だ。拓本を取るなど戦争遺跡として保全すべきでは。

岡村教育長 お墓は所有者の管理が基本だが、資料としての扱いをするのであれば、遺族などと協議して可能かどうか検討したい。

その他の質問

- ▼町長選の去就
- ▼能登半島地震
- ▼地域おこし協力隊

私は、賛成・反対しました。

賛否の分かれた議案

審議した議案等	窪田和教	岡伊三男	下元良之	福永守恭	金子裕之	濱田和昭	下元道夫	山本建生	中野大地	佐竹敏彦	高橋雄造	中城重則	結果
【9月定例会 陳情】													
陳情第1号 消費税減税、インボイス制度廃止を求める意見書採択を求める陳情	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	不採択
陳情第2号 「国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書」採択を求める陳情	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	不採択

○・・・賛成 ●・・・反対 / 議長は賛否同数の時や特別多数議決の時に賛否を表明します

全会一致の議案

【9月定例会 議案】		結果
議案第46号	中土佐町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第47号	中土佐町監査委員条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第48号	中土佐町人権啓発センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第49号	令和7年度中土佐町一般会計補正予算（第4号）について	可決
議案第50号	令和7年度中土佐町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	可決
議案第51号	令和7年度中土佐町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	可決
議案第52号	令和7年度中土佐町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	可決
議案第53号	令和7年度中土佐町簡易水道事業会計補正予算（第1号）について	可決
議案第54号	中土佐町学童保育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
認定第1号	令和6年度中土佐町各会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第2号	令和6年度中土佐町簡易水道事業会計欠損金の処理及び決算の認定について	可決・認定
認定第3号	令和6年度中土佐町農業集落排水事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決・認定
【9月定例会第1回臨時会議 議案】		結果
議案第55号	令和7年度久礼中学校（体育館棟）空調機設置工事請負契約の締結について	可決
議案第56号	財産の無償譲渡について	可決

《議長の主な活動状況（令和7年7月～9月）》

● 7月

- 7日 津野山養護老人ホーム組合打ち合わせ、高幡広域市町村圏事務組合打ち合わせ
- 10日 津野山養護老人ホーム組合議会臨時会（津野町／津野町役場）、高幡障害者支援施設組合議会（津野町／津野町役場）、高幡広域市町村圏事務組合議会（津野町／津野町役場）、高幡消防組合議会（津野町／津野町役場）、高幡東部清掃組合議会（津野町／津野町役場）
- 12日 松澤章夫氏叙勲受章祝賀会
- 23日 埼玉県上尾市議会視察受け入れ（挨拶のみ）
- 31日 令和7年度四国横断自動車道高知県建設促進期成会等四国地方整備局への要望（高松市／国土交通省四国地方整備局）

● 8月

- 2日 第42回中土佐町小中学生弁論大会
- 19日 こうち人づくり広域連合令和6年度決算審査（高知市／高知県自治会館）、高知県後期高齢者医療広域連合令和6年度決算審査（高知市／高知県保健衛生総合庁舎）
- 22日 第55回高幡町村議会議長会臨時総会（梶原町／地域活力センターゆすはら・夢・未来館）
- 27日 県道窪川中土佐線・窪川船戸線改良促進期成同盟会総会（四万十町／四万十役場）
- 29日 高知県町村議会議長会理事会（高知市／高知県自治会館）、町村議会議長研修会及び県政に対する意見交換会（高知市／高知県自治会館）

● 9月

- 12日 高岡郡高原畜産センター打ち合わせ



高幡町村議会議長会研修（梶原町／ゆすはら座）8月22日

Q 議員は何をしゅうが？

A 私たちは、こんなことをしています。

《各議員の出欠状況（令和7年7月～9月）》

日 付 ・ 会 議 等		窪田 和教	岡 伊三男	下元 良之	福永 守恭	金子 裕之	濱田 和昭	下元 道夫	山本 建生	中野 大地	佐竹 敏彦	高橋 雄造	中城 重則
7月1日	議会広報広聴常任委員会	○		○		○	○		○	○			
7月8日	少子化対策特別委員会		△	○		○	○			○	○		
7月11日	産業建設民生常任委員会		○	○	○	○	○			○			
7月18日	中土佐町立美術館竣工式	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	議会広報広聴常任委員会	○		○		○	○		○	○			
7月22日	議会広報研修会（高知市／高知県自治会館）	○		○		○	○		●	○			
7月24～25日	地方議員研究会研修（東京都／リファレンス西新宿大京ビル）	○											
7月31日	市町村議会議員研修（高知市／高知県立県民文化ホール）	●	○	○	○	○	○		●	○	○	○	公
8月4～6日	行政視察研修（石川県）	●	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○
8月22日	第19回高幡町村議会議員研修会（栲原町／ゆすはら座）	●	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
8月28日	総務教育常任委員会	○					○		○	○		○	○
8月29日	産業建設民生常任委員会		○	○	○	○		○			○		
9月3日	議会運営委員会	○		○			○				○	○	
9月5日	9月定例会通常会議（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月8日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	総務教育常任委員会	○					○		○	○		○	○
9月9日	9月定例会通常会議（2日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月10日	9月定例会通常会議（3日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○		○			○				○	○	
9月12日	9月定例会通常会議（4日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報広聴常任委員会	○		○		○	○		○	○			
9月20日	中土佐町立美術館開館記念式典	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月30日	議会広報広聴常任委員会	○		○		○	○		○	○			

○・・・出席 ●・・・欠席 △・・・一部欠席 公・・・他の公務による欠席 /・・・所属委員等でない
 ※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。



埼玉県上尾市議会視察受け入れで
あいさつする中城議長（7月23日）



中土佐町小中学校弁論大会であい
さつする中城議長（8月2日）



なかとさ美術館開館記念式典で祝辞を
述べる中城議長（9月20日）



今年度の「議会だより」の表紙写真のテーマは「町でがんばる人たち」です。

今回は、だるまあさひの写真で有名な佐竹福馬さんにお話をお伺いしました。

1 佐竹さんのことを教えてください。

昭和17年生まれ、10月で83歳です。8人兄弟の



5番目、生まれも育ちも久礼です。

2 お仕事は。

高校卒業後、自動車メーカーのホンダに就職しました。6年間埼玉の工場、2年間は高知営業所、その後独立してホンダの取次店をしてきました。娘2人は県外に嫁いでおり、後継ぎがいなかったため2年前に仕事は辞めました。

現在は全国から注文がある写真の額縁づくりをしています。

3 写真はいつ頃から。

中学のころ兄が持っていたカメラを借りて始めました。それ以来、高校、社会人と続けてきましたが趣味のような程度でした。

4 本格的にやるようになったのは。

20年ほど前から主に人物と景色を撮っています。コンテストに応募することもしました。県展には何度か入選したことがあります。

5 だるまあさひを撮るようになったのは。

県内に住む友人から勧められたからです。



※表紙の写真は、佐竹さんのご了解を得て一部加工しています。

6 自宅の事務所にはたくさん作品を飾られています。写真情報に興味がある人は見学させてもらえますか。

大歓迎です。ぜひ気軽にきてください。

山本 建生



「令和の米騒動」

去年から米の価格が値上がりし、物価高騰とも相まって国民生活に深刻な影響を与えている。約30年前に起こった「平成の米騒動」。タイ米やカルフォルニア米の輸入などを記憶している。どちらも1971年から半世紀続いた減反政策によって供給力が削減されたことが原因である。

10月6日には、大野見で新嘗祭献穀拔穂祭が、久礼では久礼八幡宮大祭が執り行われた。古来より日本人が稲作を中心とした生活を送り、豊作に感謝してきた。地域を見渡せば休耕田が多くなり、これからますます人口減少によって生産者もいなくなる。「米騒動」をきっかけに日本の農業を見直し、未来永劫、全国各地で五穀豊穣に感謝する祭りが続いていくことを願う。

金子 裕之

中土佐町議会広報広聴常任委員会

委員長	窪田 和教
副委員長	山本 建生
委員	山下 良之
委員	金子 裕之
委員	濱田 和昭
委員	中野 大地